

ありんこの会(会員の互助活動)の支援活動に

参加しませんか(支援者申込)

「最期まで安心してこの街で暮らしたい」と願っている私たちにとって、「困った時の助け合い活動」がとても大切になっています。特に、東日本大震災の経験は地域でのつながりの大切さを反省させられます。

2011年(平成26年)9月に、木村泰子さん(理事、帝塚山大学心理学部地域福祉学科)により、皆様に地域生活についてアンケート調査をしていただきました。会員253名のうち66%の165名もの方々に回答を頂きました。一番利用したいサービスは「急に具合が悪くなった時の手助け 102人」でした。続いて「災害時の避難の手助け」「ちょっとした力仕事」「気軽に行ける井場所の提供」「通院の送迎や外出の手助け」「安否確認の声掛け」と続きます。

印象的なことは支援の担い手になりたいとの声が多かったことです。64名の方が応えています。多い順から、①安否確認の声掛け ②ちょっとした買い物やゴミだし ③話し相手や相談相手 ④急に具合悪くなった時の手助け ⑤通院の送迎や外出手助け ⑥災害時の避難の手助け ⑦食事作りや掃除・洗濯の手伝いなどです。

私たちは支援者グループを立ち上げて支援内容を検討し、アンケートの回答を考慮して「ありんこの会ご案内」を作成しました。ごく普通の「困っていること」で助け合います。資格は問いません。

このご案内に目を通していただき、下記の支援者申込みでご登録ください。つどいの家「はむろ」にFAX、電話、郵送、メール、スタッフ等への手渡しのいずれかでご返事ください。

支援者申込み

氏名 _____

住所 _____

TEL _____

携帯電話 _____

Mail _____

支援できること

支援できる曜日・時間

ご意見・ご要望